

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.158

2018. 12. 3

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227



1941年(昭和16年)12月8日、日本軍の真珠湾攻撃で3年6か月に及ぶ太平洋戦争が勃発。この12月は、戦争、敗戦の教訓を改めて噛みしめる時です。これから担う若い世代が、全国で行われている平和関連の企画や集会に参加し、平和への思いを新たにしています。「戦争は絶対してはいけない!」と訴える若者たちの声を紹介します。

◇沖縄で感じた平和への思いをまわりにも伝えたい

岩手大学農学部2年 阿部汐里

私は岩手大学生協学生委員として、9月上旬に開催された「Peace Now!Okinawa2018」に参加してきました。「Peace Now!」は、広島、長崎、沖縄の各3か所で、フィールドワークや戦争体験者の講話、現在世界で抱える問題を通して戦争や平和について学び、学生同士が「平和」というテーマで深く話し合い交流する企画です。参加理由は、沖縄に行きたかったことと、主に自国である日本のことを少しでも知ろうと思ったからです。



三泊四日の中で、戦争を軸にして過去を振り返り、現在を見て、未来を想い、平和について考えてきました。自分の想像を遙かに越えた劣悪な環境での生活や、今も引きずるどうしようもできない沖縄の問題に胸が苦しくなりました。

岩手にいる私は、日常生活で平和や戦争を意識することはとても難しいと思います。ですが学生の今、この経験ができたことに感謝をし、私が経験して感じたことをまわりのみんなに伝えていきたいと感じました。

◇広島で感じた平和への思いは大きな経験値に

岩手大学理工学部1年 ボルドバートル・バイルフー(モンゴル出身)

私が参加した「Peace Now!Hiroshima2018」は、8月5日から4日間を通して「平和」について考える体験型学習会でした。企画内容はとても濃く、夜布団に入るとすぐ寝てしまうくらい、盛りだくさんでした。中でも私が一番印象に残った点は、慰霊式典に参加したことです。全体で黙祷をした時に、数十秒ではありましたが私は、平和という言葉を手で感じたように感じました。あの場に参列した全員が慰霊の思いと平和を願う気持ち、私たちが目指している平和そのものだったと思います。

他にも様々なことを感じ、考え、参加者同士で意見交流しました。短い期間で得られたものは、私にとって大きな経験値になりました。



岩手の3,000万署名数は、16万5千筆

(11/26 現在)

お知らせ 平和憲法・9条をまもる岩手の会・安倍9条改憲NO!全国市民アクション岩手の会共催

「私たちのくらしに憲法をいかそう!一憲法記念日を考える市民のつどい」

2019年2月11日(月・祝)10:30~14:30 盛岡市サンビル7階ホール 参加費 300円

内容：横山英信(岩手大学人文社会学部教授)学習講演、9条の会活動交流など。

※弁当の注文も受け付けます。参加申し込みも含め、団体・組織のみなさんはまとめてお申し込み下さい。

憲法9条に「自衛隊明記」どういう書き方でも危険！

—「安倍9条改憲NO！もっと憲法学んで交流会」開催—



10月6日、盛岡北部・松園・緑が丘の9条の会や、新婦人、医療生協の盛岡市北部地域の団体で構成する「3,000万署名すすめる学習交流会実行委員会」主催で、若者も含め110人が参加しました。

岩手大学人文社会学部・横山英信教授が講演し、安倍政治のごまかし、話のすり替え、公文書の隠ぺい・改ざん、討論拒否、不当な人事介入等々、安倍政権の政治手法は一言でいうと「反知性」と言える、と説明。「この『反知性』政治手法の延長線上に、『自衛隊明記』改憲がある。安倍政権の反知性的本質を国民に早急に知らせる必要がある」と、運動の方向を提案しました。また、9条が果たした役割や「自衛隊明記」について多方面から検討され、自衛隊違憲論や自衛隊合憲論の根拠がどこにあるかも説明。自衛隊合憲論の人たちも「集団的自衛権行使」には反対しているし、「自衛

隊明記」にも反対していることが報告されました。

最後に、「9条の理念を維持し、実現に近づける」「自衛官・国民の生命・自由・幸福追求の権利を守る」など、「自衛隊明記改憲阻止運動」が目指す項目が提案されました。

意見交流では、文科大臣の問題発言についてや戦争体験など、会場から多くの意見が出されました。戦争を体験した方から、「引上げ船で上官が甲板から突き落とされた。戦争が終わったのに生気のない大人たち。殺し殺される戦争には絶対反対」などの声が出されました。



コラム

＝ トランプ米大統領よ！あなたは「核の問題」で国際的に許されません！

率先して「核軍縮」と「核廃絶」に進むべきです！

今回は随想的文章で述べてみたい。ご承知の通りトランプ米政権により米国合衆国は「イラン核合意」から一方的に離脱、しかもイランに対して国連決議によらない「単独経済制裁」（リンチ）でイランを制裁しております。

国際原子力機関（IAEA）も「イランは『合意』を守っている」と言明、英国、フランス、ロシア、中国の「核保有国」も同様の見地から「その『合意』を守る」と。しかもその米国は「核実験」と「核開発の継続」という。「核保有国」といっても「違い」があることを知る必要があると思います。

これをどうみますか。国際社会は問われていると思います。原爆投下以来米国は「核による優位」を主張し、他国の核保有を抑制する国際政治行動をとって来ております。戦争に賛成する訳ではありませんが、なんで米国にだけは「核保有の権利」が特権的に認められるのか、今に至るも大きな疑問だと思います。国際社会の大きな議論が必要なのではないでしょうか。他国にだけ核廃絶を求めるのは許されないことだと思います。如何でしょうか。

だからトランプ米政権に求められるのは率先して「核軍縮」と「核廃絶」に進むことではないでしょうか。国際社会は声を大にしてそのことを求めるべきではないでしょうか。しかも「唯一の被爆国」である日本の政府は率先してそのことをトランプ米政権に求めるべきであります。また、日本の国民は自国政府とトランプ米政権に「許されない！」と声を大にして訴えるべきであり、訴え続けるべきです。「言論戦」に負けてはいけないと思います。(T)

12月の署名活動は10日(月)12:15～12:45

盛岡市大通・野村證券前で3,000万署名の街宣署名を行います。

お誘い合わせの上、寒さ対策をしっかりと行って、是非ご参加下さい！